

印刷業界の新技术情報を三美印刷がお届けするメールニュース

sanbi-i-com 2010年11月号(No.122)

日本の学術論文公開サイトは第三ステージへ①

—J-STAGE とその利用状況—

J-STAGE(科学技術情報発信・流通総合システム)は、文部科学省傘下の独立行政法人科学技術振興機構(JST)が運営する日本の学術論文・電子ジャーナルの公開サイトです。現在 J-STAGE は、2012年4月からの「J-STAGE 3」への移行に向けた準備と開発を進めています。その中には「論文本文の掲載が今までのPDFからXML形式を推奨に変わる」など、学協会様、印刷会社にも影響を与える内容も含まれています。

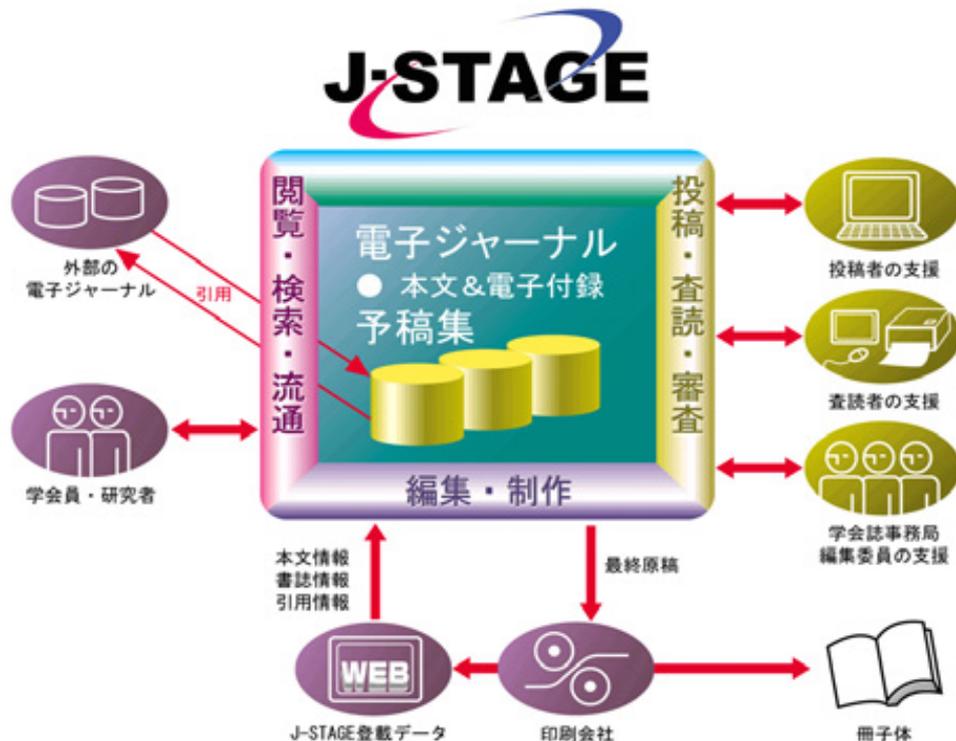
今回は「J-STAGE 3の内容とそれへの対応」について、3回シリーズでお届けします。第1回目は現状での「J-STAGE とその利用状況」についてです。

■J-STAGE 構築の背景とその概要

(1)J-STAGE は 1998 年にスタート(第一ステージ)、その構築の背景には下記のようなことがありました。

- ①我が国の学協会が発行する論文誌の電子化が欧米に比べて遅れており、情報発信力が弱い。電子化されていない論文は見てもらえない。優秀な論文が発信力の強い海外誌に流出してしまっている。
- ②我が国の学協会は厳しい財政条件下、単独で論文誌を Web 発信するのは難しい。
→我が国の学協会論文誌のプレゼンス(存在感)を高めるため、電子的な情報発信の支援が必要。

(2)J-STAGE が現行システムに移行されたのは 2003 年です(第二ステージ)。現在の J-STAGE の概要は下図のようになっています。

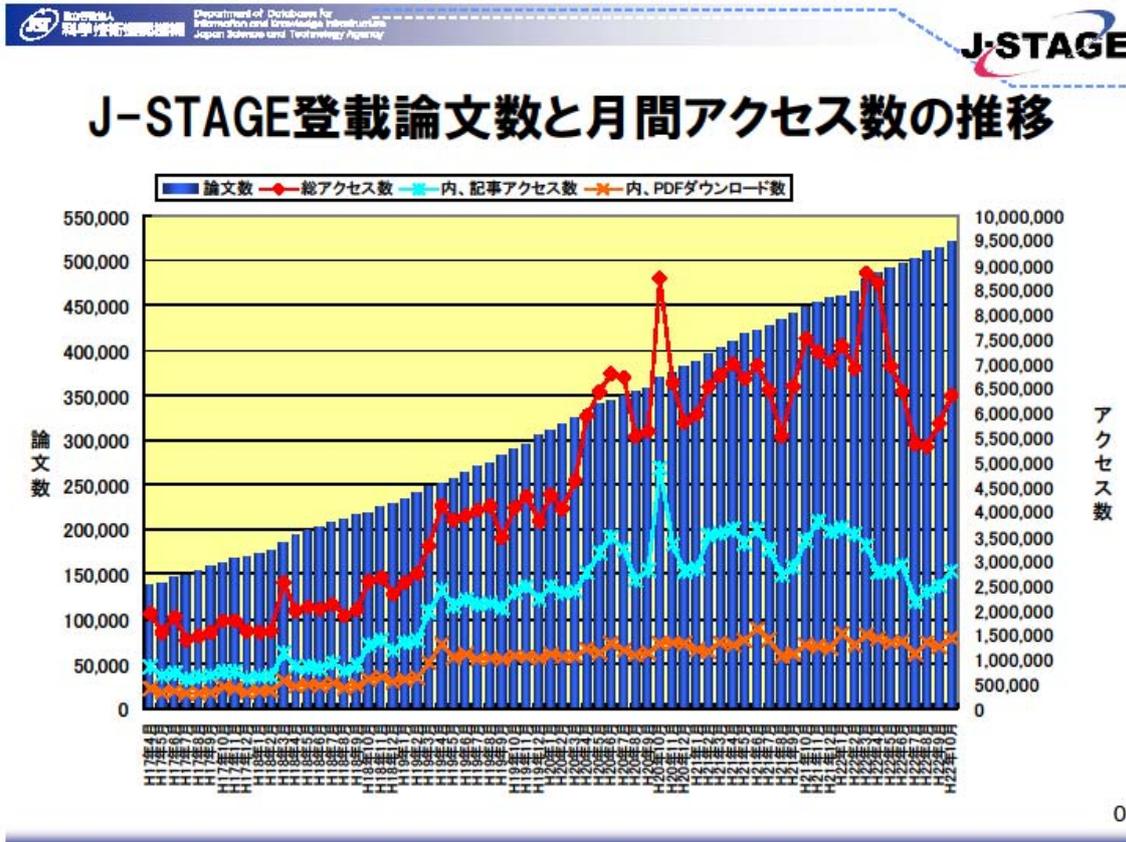


オンライン論文投稿・査読システムの提供(オプション)で電子ジャーナル化を支援、J-STAGE に掲載された電子ジャーナルは、「JST リンクセンター」を介して国際的な電子ジャーナルサイト(PubMed, cross-ref など)とリンクされています。

■現状での J-STAGE はどのように利用されているか

(1) J-STAGE はスタート以来、参加学協会、掲載誌数を順調に増やしてきており、2010年8月現在利用学協会数は570、公開ジャーナルは633誌となっています。報告書、予稿集などの資料も入れると、合計768の資料が公開されています。

(2) 公開されているジャーナルの言語別割合は、欧文誌が36.8%、和文誌が19.4%、和欧混在誌が43.8%となっています(2010年7月現在)。分野別では、多い順に医学・薬学、工学、生物科学、化学、物理学、人文社会科学となっています。



J-STAGE への掲載論文数、月間アクセス数、PDF ダウンロード数

2010年10月現在、掲載論文数は約52.5万、月間アクセス数は650万～900万、月間のPDFダウンロード数は約150万となっています。2006年の秋には

Google との連携が本格化し、Google の検索結果からのアクセスが圧倒的に増えています。

→実際の「[J-STAGE サイト](#)」もご確認ください。

■J-STAGE データの作成とアップロード

J-STAGE に論文等を掲載するには、下記3点のデータを作成、アップロードする必要があります。

- ①書誌情報データ(bib ファイル):掲載誌名、巻・号、発行年月、論文タイトル、著者名、キーワード、アブストラクト、引用文献などをまとめたタグ付テキストデータ。
- ②本文 PDF データ:論文表示用に使用。
- ③本文テキストデータ:全文検索用に使用。

当社では年間約 5000 論文の J-STAGE データ作成とアップロードを行っています。

- ◆ 今回は下記サイトなどを参考にまとめさせていただきました。
- ◆ 次回は「J-STAGE 3 でどのようなことが予定されているか」についてです。

「J-STAGE の現状と今後の計画」(2008 年 12 月 独立行政法人科学技術振興機構 電子ジャーナル課
久保田壮一氏)

「J-STAGE 及び Journal@rchive の状況」(2010 年 8 月 独立行政法人科学技術振興機構
電子ジャーナル課 久保田壮一氏)

【発行】2010 年 11 月 16 日 三美印刷株式会社経営企画室

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 5-16-7 TEL : 03-3805-7675

URL : <http://www.sanbi.co.jp>